

いばらきネットモニター 「茨城県産日本酒」の魅力向上のための基礎調査結果

1 調査目的

「茨城県産日本酒」の認知度等について調査し、性別、年代別などの分析を行うことにより、本県産日本酒の販路開拓に向けた効果的な施策展開を行うための資料とします。

2 結果の概要

- ・昨年度実施のアンケート結果と比較し、「銘柄を知っていて飲んだことがある」と回答した人は、昨年 45.9%に対し今年は 46.2%と+0.3%増加しており、「銘柄や酒蔵を知っているが飲んだことはない」人も合わせると、64.9%から 66.1%と、+1.2%増加した。
- ・昨年に比べ、いばらき地酒バーの認知度は 35.9%から 52.3%と、+16.4%上昇した。
- ・よく飲むお酒の種類は、全体の回答の上位3位から、「ビール類」が最も飲まれており、次いで「日本酒」「サワー・カクテル・チューハイ類」との傾向がみられた。

【問1】

あなたは、20歳以上ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

- ・はい：836人（99.3%）
- ・いいえ：6人（0.7%）

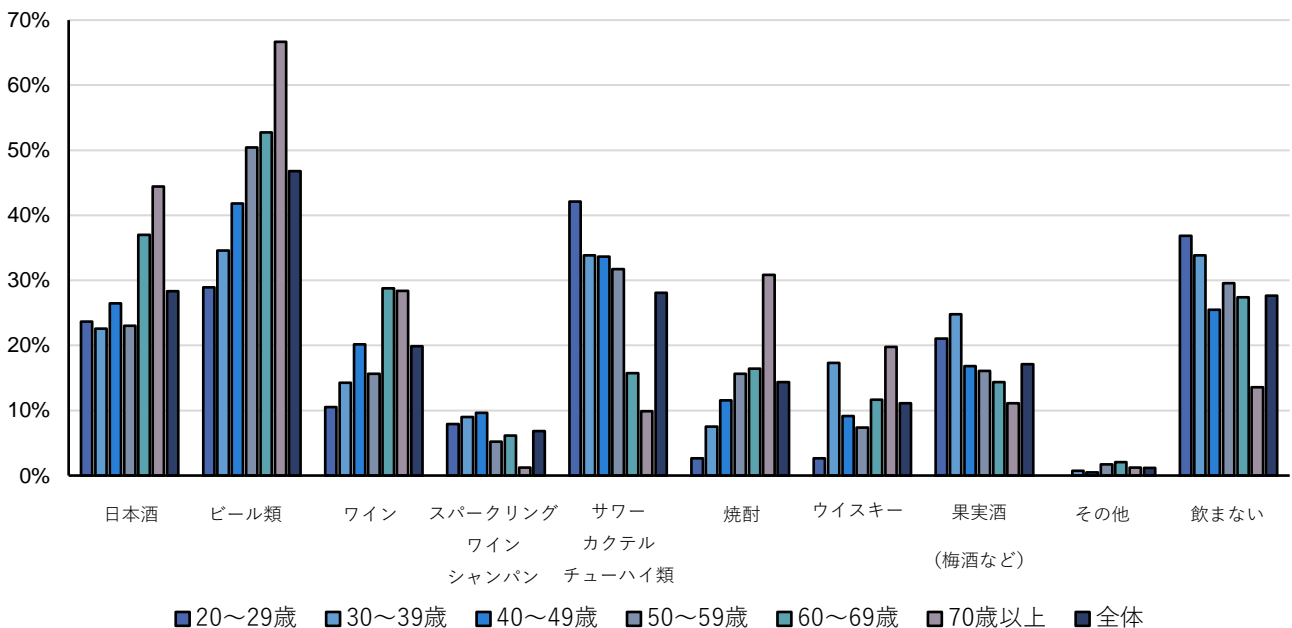
⇒問2以降は、20歳以上の方（836人）に回答いただきました。

【問2】（普段よく飲むお酒の種類）

あなたが、普段よく飲むお酒は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

<年代別よく飲むお酒の種類の割合>

(n=836)



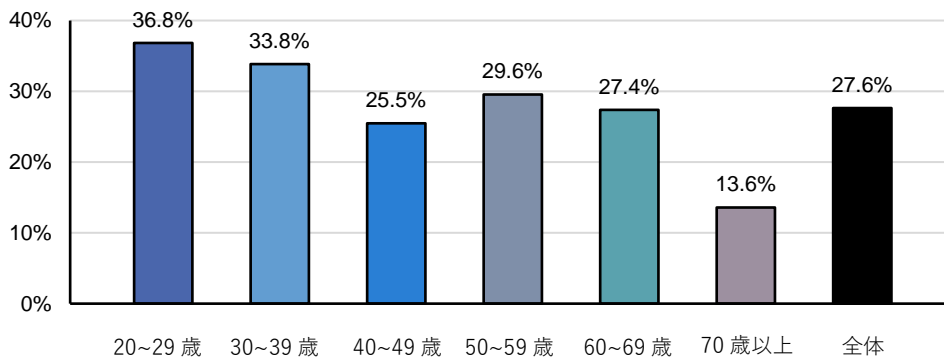
	回答者数 (n)	回答数	日本酒	ビール類	ワイン	スパークリング ワイン・シャンパン	サワー・カクテル・ チューハイ類	焼酎	ウイスキー	果実酒 (梅酒など)	その他	飲まない
20～29歳	38	67	9(23.7%)	11(28.9%)	4(10.5%)	3(7.9%)	16(42.1%)	1(2.6%)	1(2.6%)	8(21.1%)	0(0.0%)	14(36.8%)
30～39歳	133	264	30(22.6%)	46(34.6%)	19(14.3%)	12(9.0%)	45(33.8%)	10(7.5%)	23(17.3%)	33(24.8%)	1(0.8%)	45(33.8%)
40～49歳	208	406	55(26.4%)	87(41.8%)	42(20.2%)	20(9.6%)	70(33.7%)	24(11.5%)	19(9.1%)	35(16.8%)	1(0.5%)	53(25.5%)
50～59歳	230	452	53(23.0%)	116(50.4%)	36(15.7%)	12(5.2%)	73(31.7%)	36(15.7%)	17(7.4%)	37(16.1%)	4(1.7%)	68(29.6%)
60～69歳	146	310	54(37.0%)	77(52.7%)	42(28.8%)	9(6.2%)	23(15.8%)	24(16.4%)	17(11.6%)	21(14.4%)	3(2.1%)	40(27.4%)
70歳以上	81	184	36(44.4%)	54(66.7%)	23(28.4%)	1(1.2%)	8(9.9%)	25(30.9%)	16(19.8%)	9(11.1%)	1(1.2%)	11(13.6%)
全体	836	1683	237(28.3%)	391(46.8%)	166(19.9%)	57(6.8%)	235(28.1%)	120(14.4%)	93(11.1%)	143(17.1%)	10(1.2%)	231(27.6%)

<年代別よく飲むお酒の種類 上位3位>

	回答者数 (n)	回答数	1位		2位		3位	
20～29歳	38	67	サワー・カクテル・チューハイ類	16	ビール類	11	日本酒	9
30～39歳	133	264	ビール類	46	サワー・カクテル・チューハイ類	45	果実酒 (梅酒など)	33
40～49歳	208	406	ビール類	87	サワー・カクテル・チューハイ類	70	日本酒	55
50～59歳	230	452	ビール類	116	サワー・カクテル・チューハイ類	73	日本酒	53
60～69歳	146	310	ビール類	77	日本酒	54	ワイン	42
70歳以上	81	184	ビール類	54	日本酒	36	焼酎	25
全体	836	1683	ビール類	391	日本酒	237	サワー・カクテル・チューハイ類	235

<年代別お酒を飲まない人の割合>

(n=836)



※年代別に「飲まない人」の回答数を回答者数で除して算出

- 全体の回答の上位3位から、「ビール類」が最も飲まれており、次いで「日本酒」「サワー・カクテル・チューハイ類」との傾向がみられた。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、「サワー・カクテル・チューハイ類」は、30代から50代でビール類に次いで飲まれており、一方で、60代以上では日本酒がビール類に次いで飲まれている傾向がみられた。
- 「飲まない」と回答した人の割合は、全体平均で27.6%を占めた(昨年比+3.3%)。年齢層別にクラスタリングすると、若年層(20～30代)になるほど増加する傾向がみられた。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた。
 - ・ノンアルコール飲料
 - ・ジン

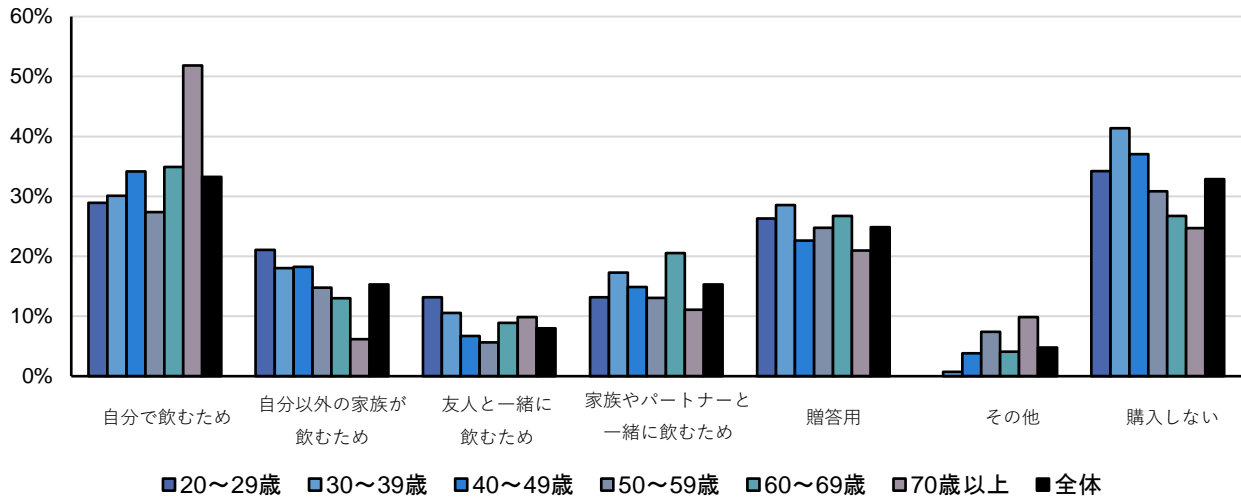
など、10件のご意見がありました。

【問3】（日本酒の購入目的）

あなたは、直近1年間の間にどのような目的で日本酒を購入しましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

<年代別日本酒購入目的の割合>

(n=836)



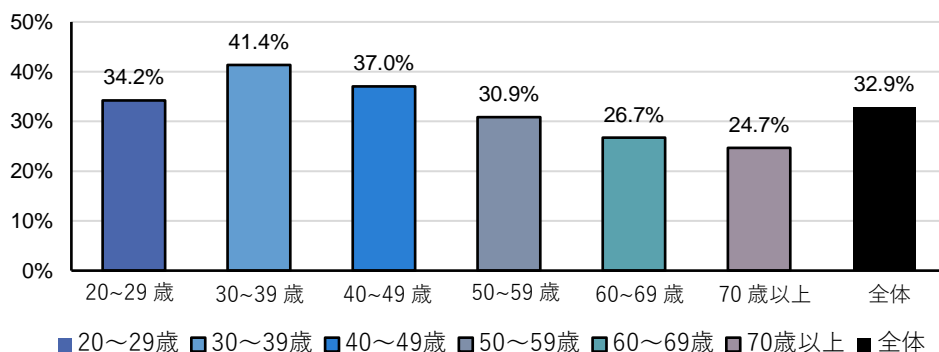
	回答者数 (n)	回答数	自分で飲むため	自分以外の家族が飲むため	友人と一緒に飲むため	家族やパートナーと一緒に飲むため	贈答用	その他	購入していない
20~29歳	38	52	11(28.9%)	8(21.1%)	5(13.2%)	5(13.2%)	10(26.3%)	0(0.0%)	13(34.2%)
30~39歳	133	195	40(30.1%)	24(18.0%)	14(10.5%)	23(17.3%)	38(28.6%)	1(0.8%)	55(41.4%)
40~49歳	208	286	71(34.1%)	38(18.3%)	14(6.7%)	31(14.9%)	47(22.6%)	8(3.8%)	77(37.0%)
50~59歳	230	285	63(27.4%)	34(14.8%)	13(5.7%)	30(13.0%)	57(24.8%)	17(7.4%)	71(30.9%)
60~69歳	146	197	51(34.9%)	19(13.0%)	13(8.9%)	30(20.5%)	39(26.7%)	6(4.1%)	39(26.7%)
70歳以上	81	109	42(51.9%)	5(6.2%)	8(9.9%)	9(11.1%)	17(21.0%)	8(9.9%)	20(24.7%)
全体	836	1124	278(33.3%)	128(15.3%)	67(8.0%)	128(15.3%)	208(24.9%)	40(4.8%)	275(32.9%)

<年代別日本酒購入目的の割合 上位3位>

	回答者数 (n)	回答数	1位		2位		3位	
20~29歳	38	52	自分で飲むため	11	贈答用	10	家族が飲むため	8
30~39歳	133	195	自分で飲むため	40	贈答用	38	家族が飲むため	24
40~49歳	208	286	自分で飲むため	71	贈答用	47	家族が飲むため	38
50~59歳	230	285	自分で飲むため	63	贈答用	57	家族が飲むため	34
60~69歳	146	197	自分で飲むため	51	贈答用	39	家族やパートナーと一緒に飲むため	30
70歳以上	81	109	自分で飲むため	42	贈答用	17	家族やパートナーと一緒に飲むため	9
全体	836	1124	自分で飲むため	278	贈答用	208	家族が飲むため / 家族やパートナーと一緒に飲むため	128

<年代別日本酒を購入していない人の割合>

(n=836)



- 1年以内に日本酒を購入した人は、561名（67.1%）だった。
- 全体の回答の上位3位から、「自分で飲むため」、「贈答用」、「家族やパートナーと飲むため」に日本酒を購入する傾向がみられた。年齢層別でも同様の傾向がみられた。
- 「購入していない」と回答した人の割合は、全体平均で32.9%を占めた（昨年比+1.0%）。年齢層別にクラスタリングすると、30代が41.4%と最も多く、全体で見ると年齢層が高くなるほど低くなる傾向がみられた。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた。
 - ・料理用（料理酒）
 - ・神事・祭事

など、40件のご意見がありました。

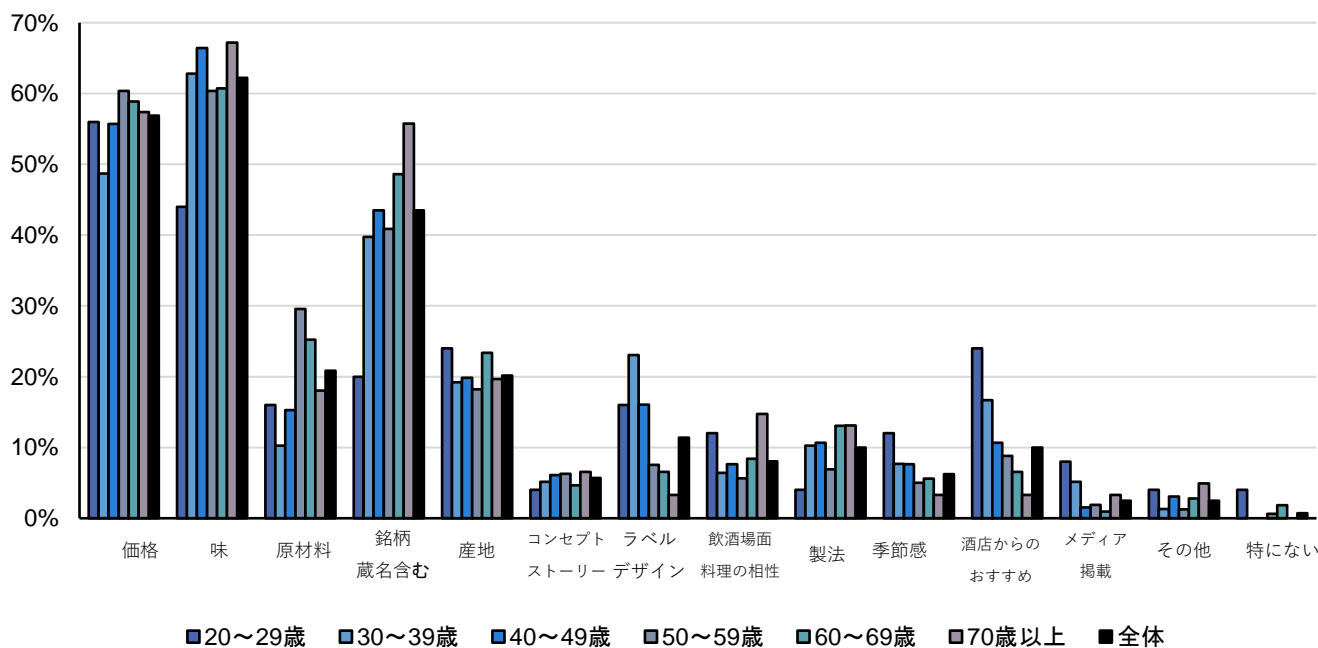
【問4】（購入時に重要視すること）

（問3で「購入していない」以外を回答した方にお伺いします）

あなたが日本酒を購入する際、特に重要視したことは何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

<年代別日本酒購入時に重要視したことの割合>

(n=561)



	回答者数 (n)	回答数	価格	味	原材料	銘柄/蔵名	産地	コンセプトやストーリー	ラベルなどのデザイン
20~29歳	25	62	14(56.0%)	11(44.0%)	4(16.0%)	5(20.0%)	6(24.0%)	1(4.0%)	4(16.0%)
30~39歳	78	200	38(48.7%)	49(62.8%)	8(10.3%)	31(39.7%)	15(19.2%)	4(5.1%)	18(23.1%)
40~49歳	131	346	73(55.7%)	87(66.4%)	20(15.3%)	57(43.5%)	26(19.8%)	8(6.1%)	21(16.0%)
50~59歳	159	403	96(60.4%)	96(60.4%)	47(29.6%)	65(40.9%)	29(18.2%)	10(6.3%)	12(7.5%)
60~69歳	107	286	63(58.9%)	65(60.7%)	27(25.2%)	52(48.6%)	25(23.4%)	5(4.7%)	7(6.5%)
70歳以上	61	165	35(57.4%)	41(67.2%)	11(18.0%)	34(55.7%)	12(19.7%)	4(6.6%)	2(3.3%)
全体	561	1462	319(56.9%)	349(62.2%)	117(20.9%)	244(43.5%)	113(20.1%)	32(5.7%)	64(11.4%)

	回答者数 (n)	回答数	飲酒場面や 料理との相性	製法	季節感	酒販店や飲食 店からのおすすめ	雑誌等のメディアへの掲載	その他	特になし
20～29歳	25	62	3(12.0%)	1(4.0%)	3(12.0%)	6(24.0%)	2(8.0%)	1(4.0%)	1(4.0%)
30～39歳	78	200	5(6.4%)	8(10.3%)	6(7.7%)	13(16.7%)	4(5.1%)	1(1.3%)	0(0.0%)
40～49歳	131	346	10(7.6%)	14(10.7%)	10(7.6%)	14(10.7%)	2(1.5%)	4(3.1%)	0(0.0%)
50～59歳	159	403	9(5.7%)	11(6.9%)	8(5.0%)	14(8.8%)	3(1.9%)	2(1.3%)	1(0.6%)
60～69歳	107	286	9(8.4%)	14(13.1%)	6(5.6%)	7(6.5%)	1(0.9%)	3(2.8%)	2(1.9%)
70歳以上	61	165	9(14.8%)	8(13.1%)	2(3.3%)	2(3.3%)	2(3.3%)	3(4.9%)	0(0.0%)
全体	561	1462	45(8.0%)	56(10.0%)	35(6.2%)	56(10.0%)	14(2.5%)	14(2.5%)	4(0.7%)

<年代別日本酒購入時に重要視したことの割合 上位3位>

	回答者数 (n)	回答数	1位		2位		3位	
20～29歳	25	62	価格	14	味	11	産地/店からのおすすめ	6
30～39歳	78	200	味	49	価格	38	銘柄	31
40～49歳	131	346	味	87	価格	73	銘柄	57
50～59歳	159	403	価格/味			96	銘柄	65
60～69歳	107	286	味	65	価格	63	銘柄	52
70歳以上	61	165	味	41	価格	35	銘柄	34
全体	561	1462	味	349	価格	319	銘柄	244

○問3で「購入していない」と回答した方以外（計561名）を対象とした。

○全体の回答の上位3位から、「味」、「価格」、「銘柄」を購入時に重視している傾向がみられた。

○年齢層別にみると、特に若年層は、他の年代と比べて、「酒販店や飲食店からのおすすめ」を重視する傾向がみられ、一方で、年齢層が高くなると「原材料」や「銘柄」を重視する傾向がみられた。

○「その他」として、次のような意見が挙げられた。

- ・ 容器の材質
- ・ 地元産のもの

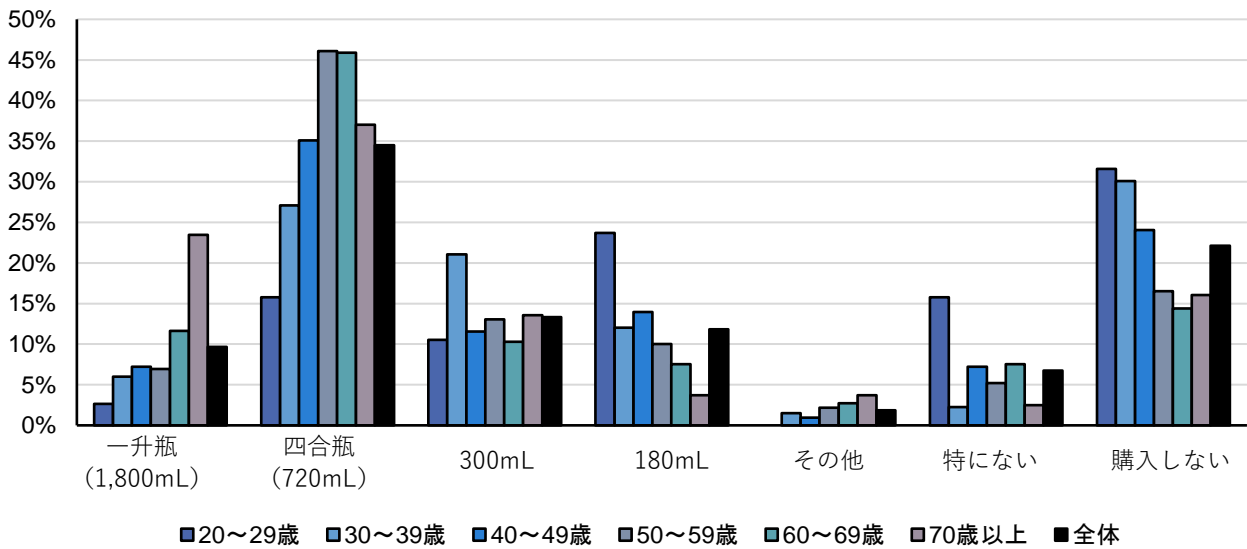
など、14件のご意見がありました

【問5】（日本酒の販売容量）

あなたが日本酒を購入する際、どのようなサイズ（容量）があると買いやすいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

<年代別日本酒を購入しやすいサイズ（容量）の割合>

(n=836)



	回答者数(n)	一升瓶 (1,800mL)		四合瓶 (720mL)		300mL		180mL		その他		特にない		購入しない	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20~29歳	38	1	2.6%	6	15.8%	4	10.5%	9	23.7%	0	0.0%	6	15.8%	12	31.6%
30~39歳	133	8	6.0%	36	27.1%	28	21.1%	16	12.0%	2	1.5%	3	2.3%	40	30.1%
40~49歳	208	15	7.2%	73	35.1%	24	11.5%	29	13.9%	2	1.0%	15	7.2%	50	24.0%
50~59歳	230	16	7.0%	106	46.1%	30	13.0%	23	10.0%	5	2.2%	12	5.2%	38	16.5%
60~69歳	146	17	11.6%	67	45.9%	15	10.3%	11	7.5%	4	2.7%	11	7.5%	21	14.4%
70歳以上	81	19	23.5%	30	37.0%	11	13.6%	3	3.7%	3	3.7%	2	2.5%	13	16.0%
全体	836	76	9.1%	318	38.0%	112	13.4%	91	10.9%	16	1.9%	49	5.9%	174	20.8%

- 全体の回答から、日本酒のサイズは、四合瓶（720mL）が最も購入しやすく、次に300mLが選ばれる傾向がみられた。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、20代では、180mLサイズが最も購入しやすいと回答する一方、年齢層が高くなるほど一升瓶の割合が増加する傾向がみられた。
- 問3と合わせて考察すると、若年層は他の年代と比較して他者からのおすすめで日本酒を選ぶことが想像され、その場合180mLサイズのように少量の商品だと購入ハードルが下がるためニーズが高いことが推察される。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた。
 - ・500mL
 - ・紙パック（180mL～4L）

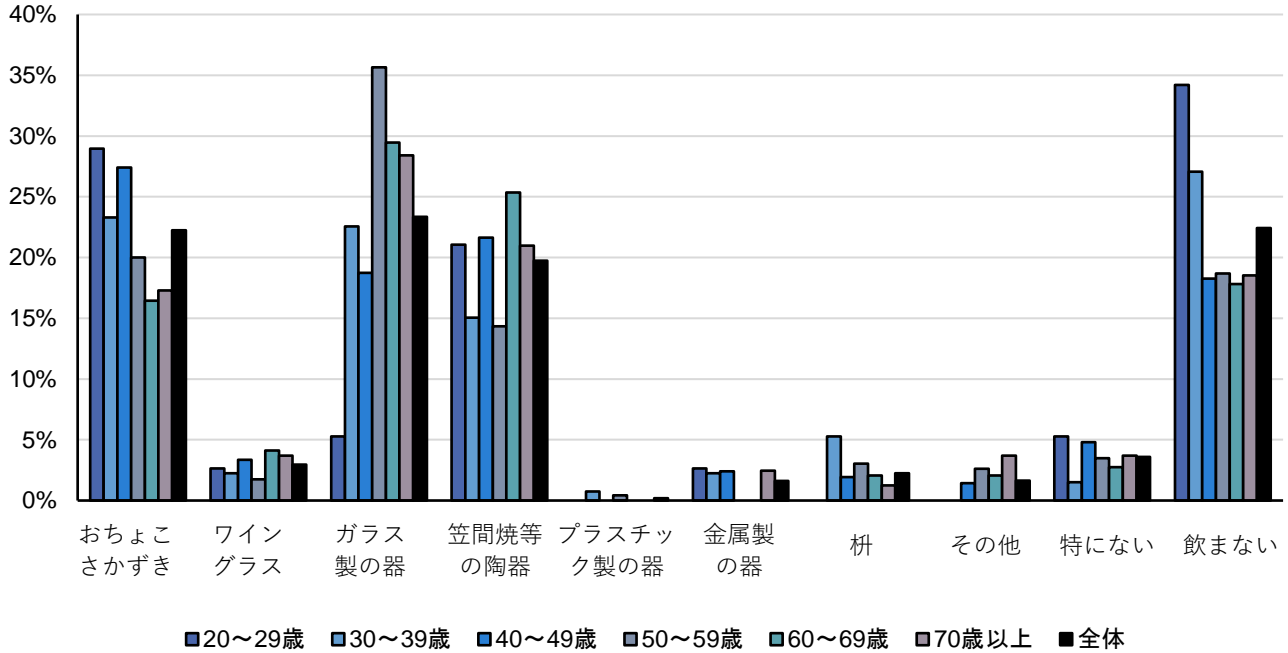
など、16件のご意見がありました

【問6】（使用してみたい酒器）

あなたが日本酒を飲む際、使用してみたい酒器は何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

<年代別使用してみたい酒器の割合>

(n=836)



	回答者数(n)	おちょこや盃		ワイングラス		ガラス製の器		笠間焼等の陶器		プラスチック製	
20~29歳	38	11	28.9%	1	2.6%	2	5.3%	8	21.1%	0	0.0%
30~39歳	133	31	23.3%	3	2.3%	30	22.6%	20	15.0%	1	0.8%
40~49歳	208	57	27.4%	7	3.4%	39	18.8%	45	21.6%	0	0.0%
50~59歳	230	46	20.0%	4	1.7%	82	35.7%	33	14.3%	1	0.4%
60~69歳	146	24	16.4%	6	4.1%	43	29.5%	37	25.3%	0	0.0%
70歳以上	81	14	17.3%	3	3.7%	23	28.4%	17	21.0%	0	0.0%
全体	836	183	21.9%	24	2.9%	219	26.2%	160	19.1%	2	0.2%

	回答者数(n)	金属製		杓		その他		特にない		飲まない	
20~29歳	38	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	13	34.2%
30~39歳	133	3	2.3%	7	5.3%	0	0.0%	2	1.5%	36	27.1%
40~49歳	208	5	2.4%	4	1.9%	3	1.4%	10	4.8%	38	18.3%
50~59歳	230	0	0.0%	7	3.0%	6	2.6%	8	3.5%	43	18.7%
60~69歳	146	0	0.0%	3	2.1%	3	2.1%	4	2.7%	26	17.8%
70歳以上	81	2	2.5%	1	1.2%	3	3.7%	3	3.7%	15	18.5%
全体	836	11	1.3%	22	2.6%	15	1.8%	29	3.5%	171	20.5%

○全体の回答から、日本酒を飲む際、「ガラス製」「おちょこやさかずき」、「笠間焼等の陶器」を使用したいとの回答が多かった。

○「その他」(1.8%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・保冷保温機能があるもの
- ・切子細工（江戸切子など）

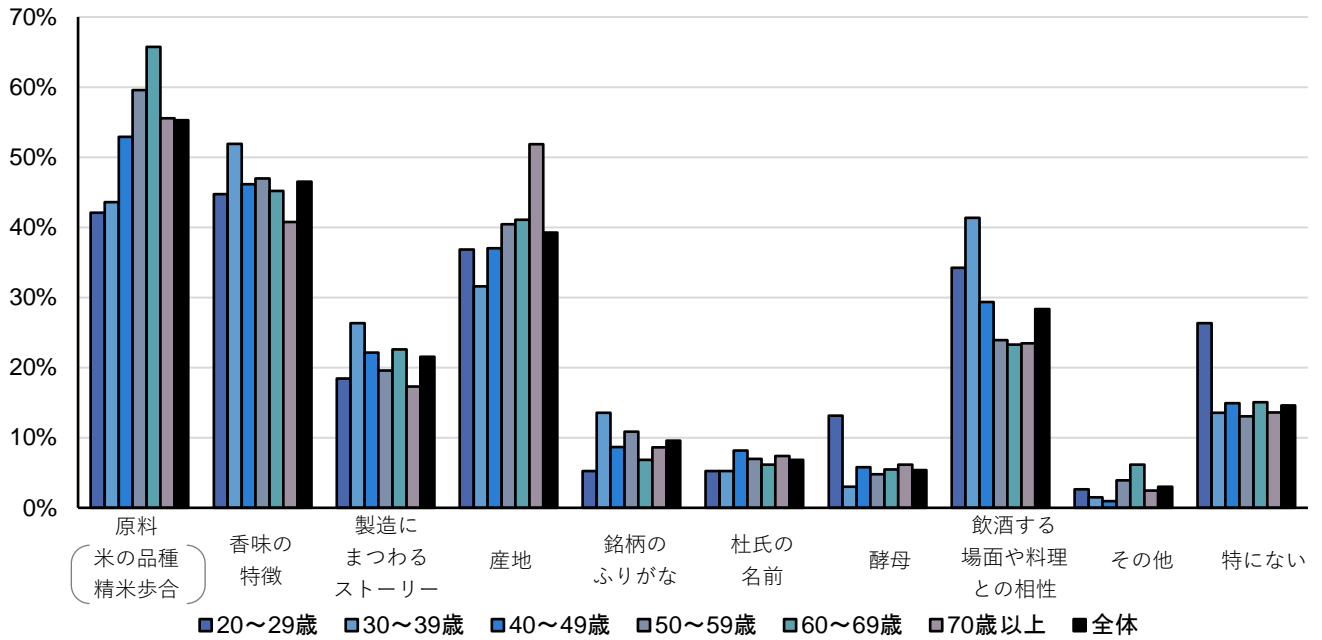
など、15件のご意見がありました。

【問7】（日本酒のラベルに記載してほしいこと）

あなたが日本酒を購入する際、ラベルにどのような情報が書いてあると買いたくなりますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

<年代別日本酒のラベルに記載してほしいことの割合>

(n=836)



	回答者数 (n)	回答数	原料	香味の特徴	製造にまつわるストーリー	産地	銘柄のふりがな	杜氏の名前	酵母	飲食場面や料理との相性	その他	特にない
20~29歳	38	87	16(42.1%)	17(44.7%)	7(18.4%)	14(36.8%)	2(5.3%)	2(5.3%)	5(13.2%)	13(34.2%)	1(2.6%)	10(26.3%)
30~39歳	133	308	58(43.6%)	69(51.9%)	35(26.3%)	42(31.6%)	18(13.5%)	7(5.3%)	4(3.0%)	55(41.4%)	2(1.5%)	18(13.5%)
40~49歳	208	470	110(52.9%)	96(46.2%)	46(22.1%)	77(37.0%)	18(8.7%)	17(8.2%)	12(5.8%)	61(29.3%)	2(1.0%)	31(14.9%)
50~59歳	230	529	137(59.6%)	108(47.0%)	45(19.6%)	93(40.4%)	25(10.9%)	16(7.0%)	11(4.8%)	55(23.9%)	9(3.9%)	30(13.0%)
60~69歳	146	347	96(65.8%)	66(45.2%)	33(22.6%)	60(41.1%)	10(6.8%)	9(6.2%)	8(5.5%)	34(23.3%)	9(6.2%)	22(15.1%)
70歳以上	81	184	45(55.6%)	33(40.7%)	14(17.3%)	42(51.9%)	7(8.6%)	6(7.4%)	5(6.2%)	19(23.5%)	2(2.5%)	11(13.6%)
全体	836	1925	462(55.3%)	389(46.5%)	180(21.5%)	328(39.2%)	80(9.6%)	57(6.8%)	45(5.4%)	237(28.3%)	25(3.0%)	122(14.6%)

<年代別日本酒のラベルに記載してほしいこと 上位3位>

	回答者数 (n)	回答数	1位	2位	3位
20~29歳	38	87	香味の特徴 17	原料 16	産地 14
30~39歳	133	308	香味の特徴 69	原料 58	飲食場面や料理との相性 55
40~49歳	208	470	原料 110	香味の特徴 96	産地 77
50~59歳	230	529	原料 137	香味の特徴 108	産地 93
60~69歳	146	347	原料 96	香味の特徴 66	産地 60
70歳以上	81	184	原料 45	産地 42	香味の特徴 33
全体	836	1925	原料 462	香味の特徴 389	産地 328

- 全体の回答から、「原料」、「香味の特徴」、「産地」の情報は、購入者にとって基本情報として必要とされていることが推測される。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、若年層では他の年齢層と比較し、「飲食する場面や料理との相性」、「香味の特徴」の情報があると買いやすいと感じる傾向がみられた。
- 一方で、年齢層が高くなるほど、「原料」や「産地」情報を求めている傾向もみられた。
- 「その他」として、次のような意見が挙げられた。
 - ・甘口・辛口など味に関係すること
 - ・デザイン・イラスト

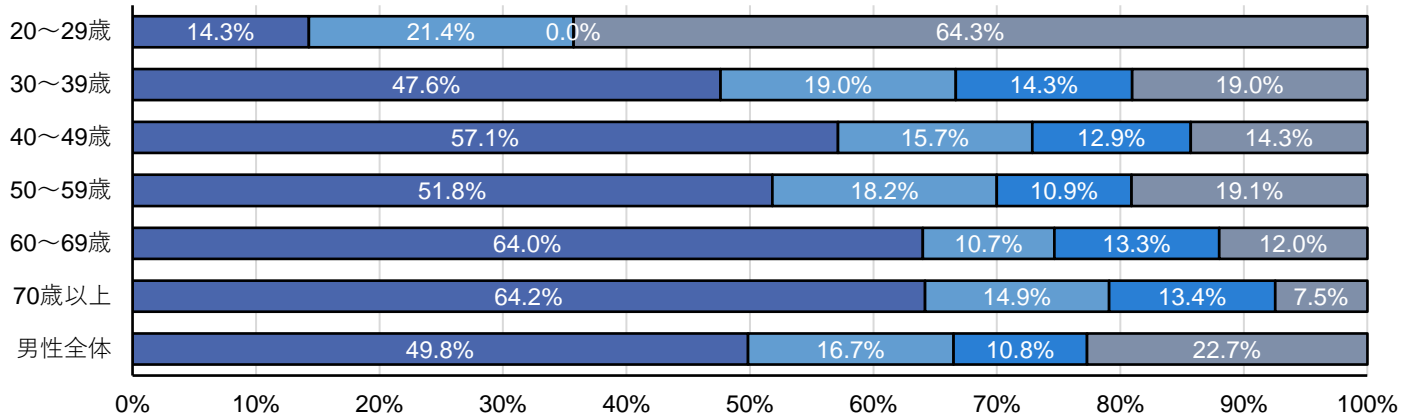
など、25 件のご意見がありました。

【問 8】（茨城県産日本酒の認知度）

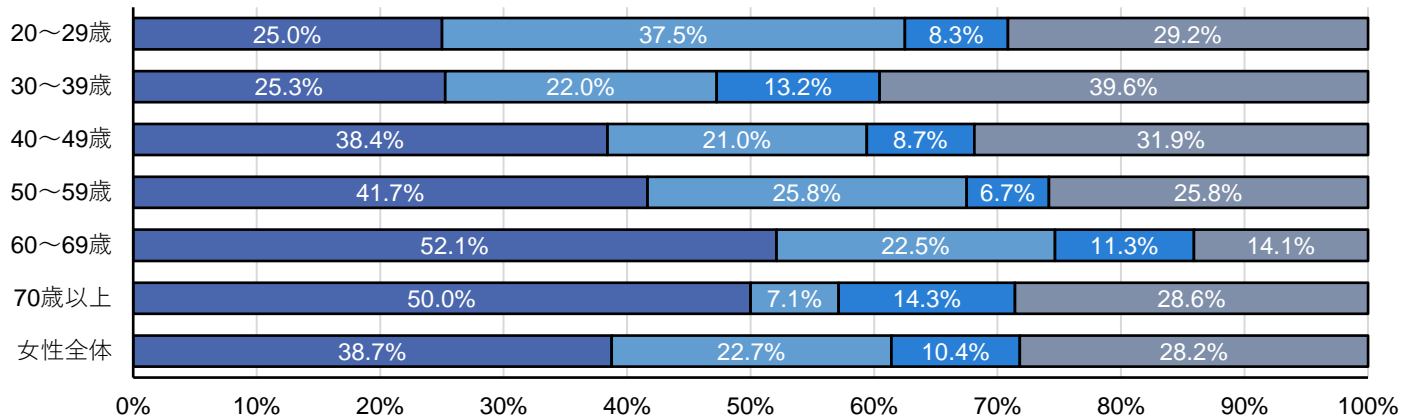
あなたは、茨城県産日本酒（銘柄や酒蔵）を知っていますか。また、飲んだことはありますか。
次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

（男性：n=378、女性：n=458）

< 男性の割合 >



< 女性の割合 >



- 銘柄や酒蔵を知っていて、飲んだことがある
- 銘柄や酒蔵を知っているが、飲んだことはない
- 銘柄や酒蔵は知らないが、茨城県のお酒は飲んだことがある
- 銘柄や酒蔵を知らないし、飲んだこともない

○男女別でみると、「銘柄を知っていて飲んだことがある」と回答した人は男性で 49.8%、女性で 38.7%であり、「銘柄や酒蔵を知っているが飲んだことはない」人も合わせると、全回答者の 60% 以上が県内の銘柄や酒蔵を知っていることがわかった。

※ 茨城県産日本酒について

現在、茨城県酒造組合には 35 蔵の酒蔵が加盟しています。茨城県産日本酒について、詳しくはこちらをご覧ください。

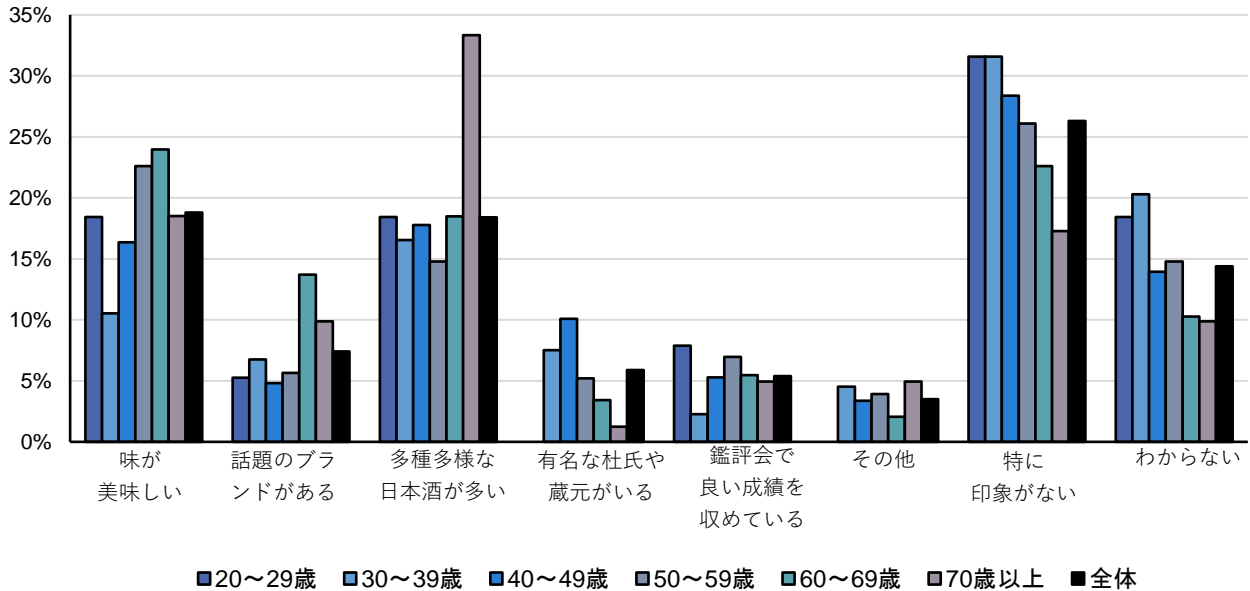
茨城県酒造組合 HP：<http://www.ibaraki-sake.or.jp/member/index.html>

【問9】（茨城県産日本酒のイメージ）

あなたは、茨城県産日本酒に対し、どのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

<年代別茨城県産日本酒に対するイメージの割合>

(n=836)



	回答者数(n)	味が美味しい		話題のブランドがある		多種多様な日本酒が多い		有名な杜氏や蔵元がいる	
20~29歳	38	7	18.4%	2	5.3%	7	18.4%	0	0.0%
30~39歳	133	14	10.5%	9	6.8%	22	16.5%	10	7.5%
40~49歳	208	34	16.3%	10	4.8%	37	17.8%	21	10.1%
50~59歳	230	52	22.6%	13	5.7%	34	14.8%	12	5.2%
60~69歳	146	35	24.0%	20	13.7%	27	18.5%	5	3.4%
70歳以上	81	15	18.5%	8	9.9%	27	33.3%	1	1.2%
全体	836	157	18.8%	62	7.4%	154	18.4%	49	5.9%

	回答者数(n)	鑑評会で良い成績を収めている		その他		特に印象がない		わからない	
20~29歳	38	3	7.9%	0	0.0%	12	31.6%	7	18.4%
30~39歳	133	3	2.3%	6	4.5%	42	31.6%	27	20.3%
40~49歳	208	11	5.3%	7	3.4%	59	28.4%	29	13.9%
50~59歳	230	16	7.0%	9	3.9%	60	26.1%	34	14.8%
60~69歳	146	8	5.5%	3	2.1%	33	22.6%	15	10.3%
70歳以上	81	4	4.9%	4	4.9%	14	17.3%	8	9.9%
全体	836	45	5.4%	29	3.5%	220	26.3%	120	14.4%

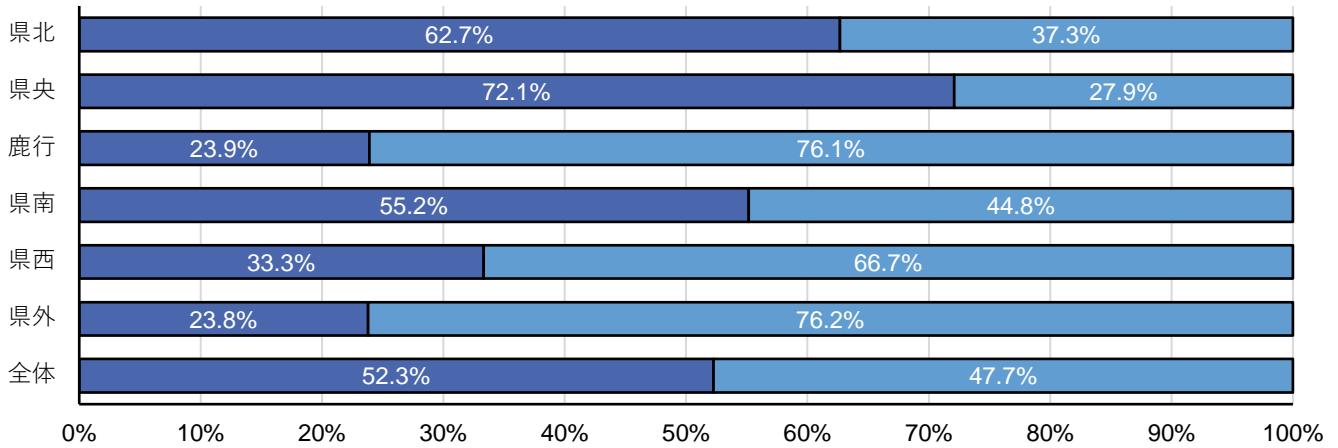
- 全体の回答では、茨城県産日本酒に対し「特に印象がない・わからない」と回答した人が全体の40.7%にのぼる。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、「特に印象がない・わからない」と回答した人は、年齢層が低くなるほど増加する傾向がみられた。
- 茨城県産日本酒のイメージの選択肢の中で、「味が美味しい」「多種多様な日本酒が多い」と回答した人の割合が多く、それぞれ約18%程度だった。
- 「その他」(3.5%)として、次のような意見が挙げられた。
 - ・美味しいのに知名度が低い
 - ・お米もおいしい

など、29件のご意見がありました。

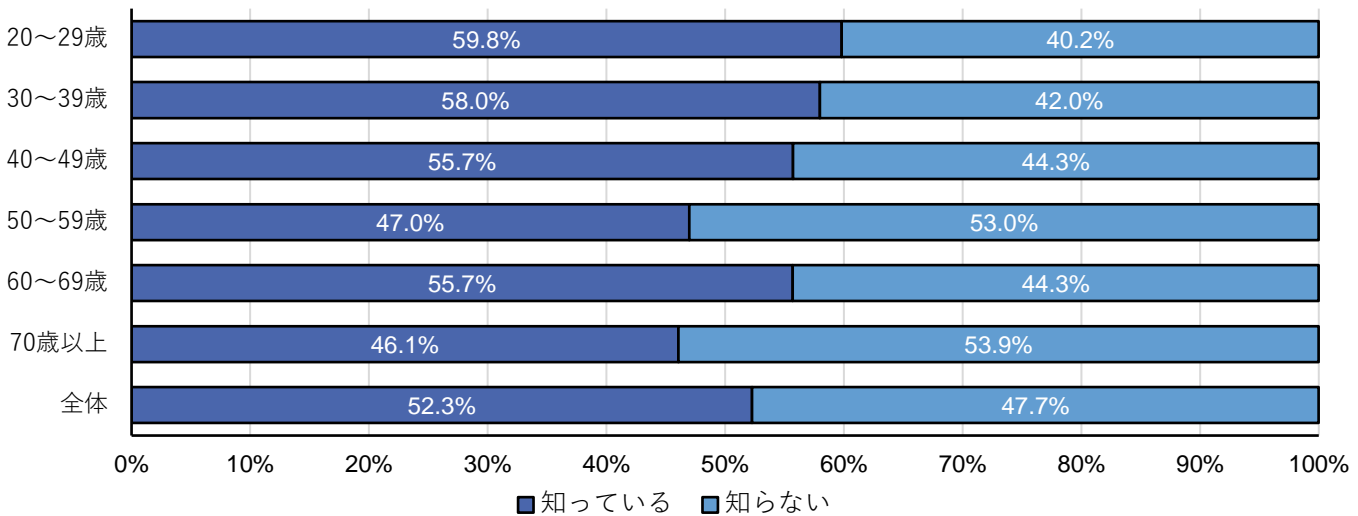
【問10】（「いばらき地酒バー」の認知度）

あなたは、JR水戸駅及びつくばエクスプレスつくば駅改札付近に、茨城県産日本酒が飲める「いばらき地酒バー」があるのを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。
(n=836)

<地域別の割合>



<年齢層別の割合>



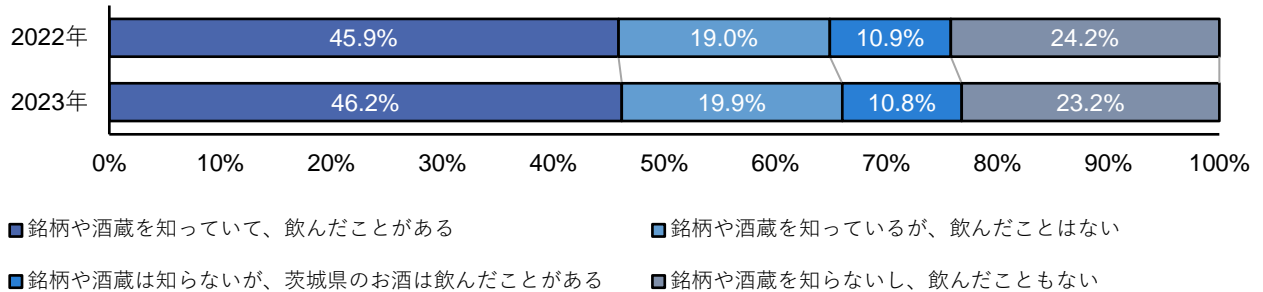
- 全体の回答では、回答者の50%以上がいばらき地酒バーを知っていることがわかった。
- 地域別で見ると、特に県北や県央の認知度が高い傾向がみられた。この理由として、2022年11月にいばらき地酒バー水戸がリニューアルオープンした影響で、JR常磐線沿線沿いの県民からの認知が高まったことが推察される。

(注) 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入しました。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがあります。
図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合があります。

3 昨年度実施した調査結果との比較（2年分）

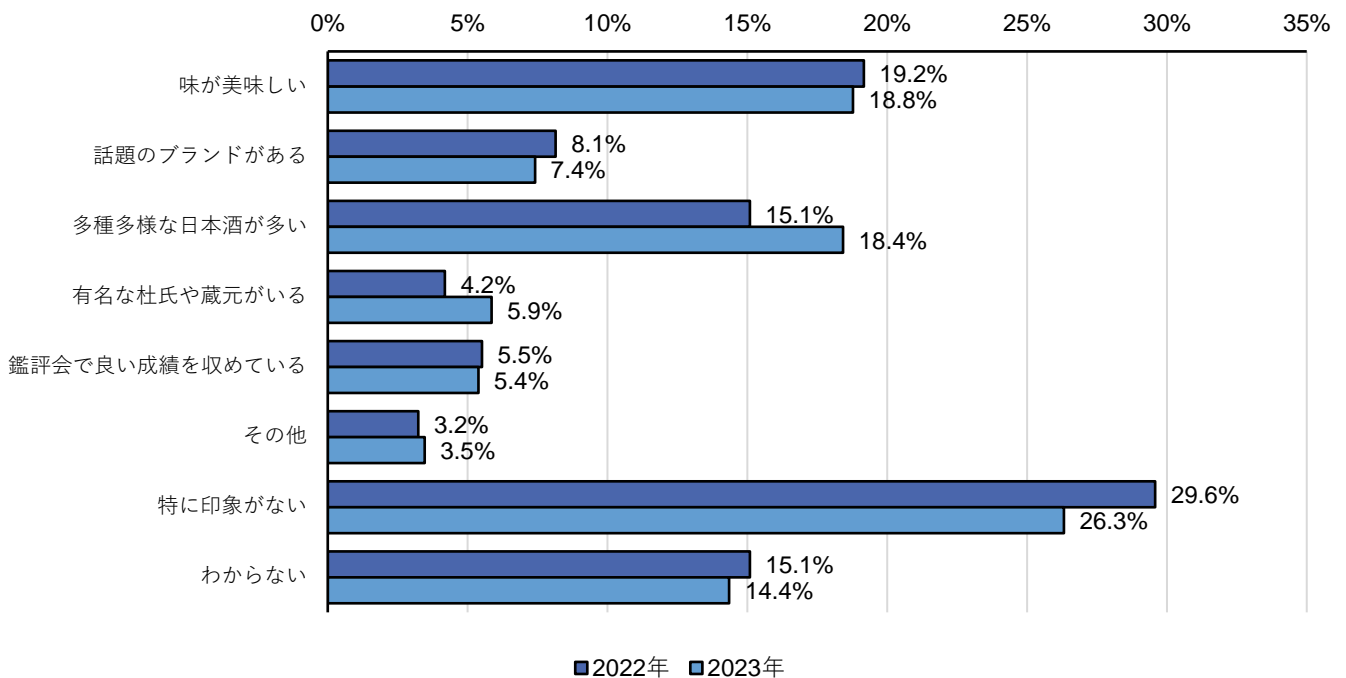
昨年度同様のアンケートを実施しており（2022年5月実施、回答者838名）、県民の本県産地酒に対する認知度の変化を見るため、問8～問10の結果の比較を行った。

【問8】（茨城県産日本酒の認知度）



○「銘柄を知っていて飲んだことがある」と回答した人は、昨年45.9%に対し今年46.2%と+0.3%増加しており、「銘柄や酒蔵を知っているが飲んだことはない」人も合わせると、64.9%から66.1%と、+1.2%増加した。

【問9】（茨城県産日本酒のイメージ）

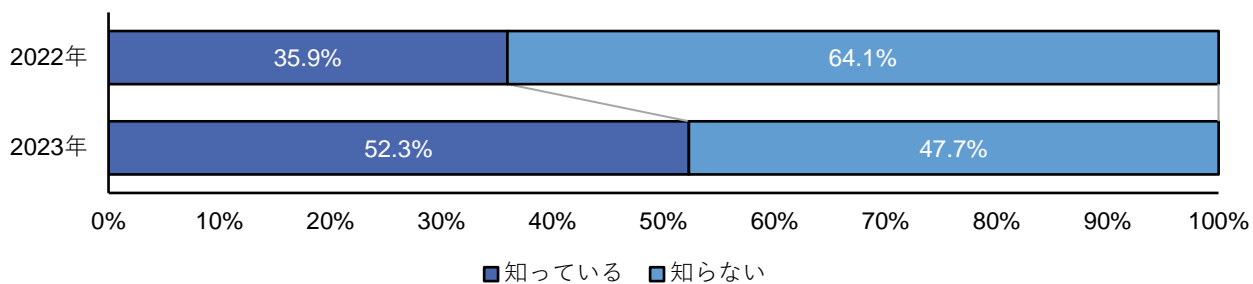


○昨年の回答と比べ、「多種多様な日本酒が多い」「有名な杜氏や蔵元がいる」のイメージが向上したことがいえる。

○「特に印象がない・わからない」と回答した人の割合は、44.7%から全体の40.7%と減少した（昨年比▲4.0%）。

【問10】（「いばらき地酒バー」の認知度）

○昨年に比べ、いばらき地酒バーの認知度は35.9%から52.3%と、+16.4%上昇した。



4 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ◆ 昨年のアンケート結果と比較し、県の地酒振興事業の効果測定を行うことができた。
- ◆ 各年齢層の飲酒傾向が把握できたことから、次世代の飲み手を増やす打ち手として本データを活用する。
- ◆ 県内酒蔵に対しても有益な情報であるため、情報共有を行っていく。

5 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和5年6月5日（月）～6月18日（日）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：1,292名

回収率：65.2%（842名）

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数（人）	比率（%）
全体（n）		842	100.0
地域別	県北	67	8.0
	県央	258	30.6
	鹿行	47	5.6
	県南	262	31.1
	県西	58	6.9
	県外	150	17.8
性別	男性	378	44.9
	女性	464	55.1
年齢別	16～19歳	5	0.6
	20～29歳	38	4.5
	30～39歳	133	15.8
	40～49歳	208	24.7
	50～59歳	230	27.3
	60～69歳	147	17.5
	70歳以上	81	9.6
職業別	自営業	70	8.3
	会社員	320	38.0
	団体職員	31	3.7
	公務員	37	4.4
	主婦・主夫	193	22.9
	学生	15	1.8
	無職	93	11.0
	その他	83	9.9

(2) 担当課

茨城県産業戦略部技術振興局技術革新課地域産業振興室

電話：029-301-3585 E-mail：shinkou@pref.ibaraki.lg.jp